

# 陸軍歩兵36連隊とやびばえ

未来への  
足跡

36連隊とともに歩んだある男の100年の物語。



2022 7.30 Sat ▶ 9.4 Sun

- 休館日 / 8月1日(月)・8日(月)・15日(月)・22日(月)・29日(月) ■ 開館時間 / 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
- 会場 / 鯖江市まなべの館 3階展示室2・3 (鯖江市長泉寺町1丁目9-20)
- 観覧料 (全館共通) / 大人300円・中学生以下150円 (鯖江市内に通学または在住する高校生以下は観覧無料)
- 主催 / 鯖江市・鯖江市教育委員会 ■ 後援 / 福井新聞社・FBC福井放送局・福井テレビ・丹南ケーブルテレビ・月刊URALA



# 陸軍歩兵36連隊とさばえ

未来への  
足跡

幕末の開国から50年以上を経た日本、そこには古きを捨てて欧米列強と肩を並べるために富国強兵へと突き進んでいく大きな時代のうねりがありました。

人々の生活は近代化し、鯖江のまちには陸軍歩兵第36連隊が置かれて「軍隊のまち」として変革の時を迎えることになりました。ささやかな幸せと生死をかけた戦争が隣り合わせであった時代、懸命に生きた先人の眼はどのような未来を見つめていたのでしょうか。刻々と変化してきた「鯖江」を追いかけながら、戦争から復興への歩みを紹介します。



【陸軍歩兵第36連隊の営門】

## 36連隊とともに歩んだある男の100年の物語。



今から語るのは、わずか100年ほど前の「さばえ」のおはなし。強くたくましい兵隊にあこがれる少年だった「私」は、20歳を迎えてついに36連隊の営門をくぐった。

その後、ほどなくして父となり、幸せな暮らしを始めたが、戦況の悪化とともに生活は苦しさを増すばかりだった。私たちの耳には迫りくる戦争の足音が聞こえていたはずなのに、耳を塞ぎ、背を向けて、もはや誰にも止められぬ行軍に声援を送っていた。それが、敗戦へと向かう道とは露とも思わず…。

昭和20年、たくさんの命と当たり前の日常を奪った戦争はようやく終わった。復興の途上、幾度となく挫けて立ち止まる私を鼓舞したのは、未来に向かって駆け出していく子どもたちの笑い声だった。



【平和と子どもたち】  
平和があってもこぼれこぼる子どもたちの笑顔。かつて「軍隊のまち」だった鯖江には、工場や陸上自衛隊が誘致され、新しいまちづくりが進みました。

© 工房でこんぼ かとうかずお



【永井商店の引き札】  
北陸線の開通を先駆けに、鉄道網の発展とともに鯖江のまちの近代化が進みました。



【だるま屋の広告】  
「だるま屋」デパートでは兵隊たちの生活を支える品々が販売されていました。



【昭和8年の陸軍記念日】  
3月10日は陸軍記念日です。「強い日本」を信じて疑わない大勢の人々は、堂々と行進する兵隊を見つめました。

関連イベント

7.30(土) 10時～16時  
まなべの館駐車場 (キッチンカーもやってくるよ!)



自衛隊がやってくる!

- おしえて!自衛隊さん
- 乗ってみよう!自衛隊の車
- 着てみよう!自衛隊の制服

●毎週土曜日 13時30分～ 学芸員による展示解説

同時開催

令和4年度企画展  
ペネロペ  
絵本原画展

7.30(土)～9.4(日)

ちょっぴりうっかりやさんな青いコアラの女の子が主人公の絵本「ペネロペ」の原画約120点がやってきます。子どもらしく愛らしい世界観と美しい色づかいをお楽しみください。



【交通のご案内】  
●福井鉄道福武線「西山公園駅」から徒歩3分  
●JR鯖江駅よりつつじバス循環線「市役所」から徒歩3分

令和4年度企画展HP



企画展の詳細は  
左記のQRコードより  
ご確認ください。

鯖江市 まなべの館 (お問合せ)鯖江市教育委員会文化課 〒916-0024 福井県鯖江市長泉寺町1丁目9-20  
TEL 0778-51-5999 FAX 0778-54-7123 Email SC-ManabeYakata@city.sabae.fukui.jp

●新型コロナウイルス等の感染拡大状況により入館制限を行う場合があります。ご来館の際には、ホームページ等で最新情報をご確認ください。  
●入館時のマスク着用・手指消毒・検温・代表者連絡先のご記入にご協力ください。